



■ テーマ名

- ① 資産運用、ポートフォリオ、株式投資、マネー・ライフプランの講演・講義
- ② 企業統治・コーポレートガバナンス、IRの実際・実務、IPO・株式上場
- ③ 電機、機械（建機・ロボット・FA・工作機械・重機械）などの経営戦略・企業分析

■ キーワード

資産運用、株式投資、コーポレートガバナンス、IR (Investor Relations)、上場、企業分析・評価

■ 研究の概要

- (1) 1994～2013年に、野村総合研究所・野村証券（金融研究所）・野村アセットマネジメントの証券アナリストとして、企業を調査し、投資家に向けて情報・分析を発信してきた。電機・機械・素材・自動車（部品）・エネルギー関連企業を中心に、経営者やIR など約1万人の取材に基づき、レポートを作成した。（海外企業等を含む）約1千の工場・施設等の現場調査を行い、各業界の横断的な現地調査による競争力比較を行ってきた。
- (2) 証券市場に関与し、国内外の機関投資家と企業戦略や企業価値を議論してきた。資産運用会社で日本株を専門とした経歴を持ち、現在はコーポレートファイナンスを専門としている（日本証券アナリスト協会（検定会員）、日本証券業協会（一種外務員、内部管理責任者資格））。
- (3) 2013年以降は、神戸学院大学で「イノベーションが企業組織や産業システムに与える影響」を対象に、資本財産業などの研究を行っている。先行する産業研究（自動車、電機や素材産業など）の成果を踏まえ、機械産業やロボット等を対象に産業構造や企業戦略を分析している。
- (4) 2015年以降、東証上場の自動車部品企業「カネミツ」の社外取締役を兼務している。

■ 他の研究／技術との相違点

セルサイド（証券会社）とバイサイド（機関投資家）での各10年程度の（アナリスト）実務経験に加え、社外取締役経験も持つため、実務と理論の融合を意識している。

■ 関連実績

- (1) ディスクロージャー&IR総合研究所委託「東証一部上場企業統合報告書レビュー」(2020年)
- (2) 社外取締役、経営・人事戦略・企業統治の提言（2015年～）、日本証券アナリスト協会代議員（2016～2020年）
- (3) 神戸市・神戸創生戦略プロジェクトチームメンバー（2015～2016年）
- (4) (中学校・高校)教員免許更新講習、(小学生向け)「こども大学」の講師（2021年）ほか

■ 関連業績（特許・文献）

著書『工作機械・ロボット産業のエコシステム—日本企業が支える世界の「モノづくり」基盤—』（単著、晃洋書房、2021年）

寄稿「マシニングセンターの市場動向」(日刊工業新聞 2020年8月26日付 18面～19面)

著書『経済学は生き抜く智剣』各論：企業ファイナンス論（共著、神戸学院大学経済学会、2020年）

著書『電子部品大辞典』（共著、工業調査会、2002年）ほか

■ 研究者から一言

委員会活動や講演会等の詳細は「神戸学院大学 情報の公表－教員総覧」のHP 参照